

新庁舎建設の視察研修

2月14日～15日の日程で議員23名と執行部1名・事務局2名の参加により、新庁舎建設について、先進地の視察研修を行った。

議会では、今年の合併に伴い5年以内に建設予定となっている新庁舎建設について、市民の皆さまに、より理解をしていただくため、議員の見識を高めるべく、広島県安芸高田市役所と愛媛県東温市役所の視察研修を行った。

また、両市ともに議会運営についても研修した。



安芸高田市役所

安芸高田市は、旧吉田町を中心とする旧吉田町役場が合併。旧吉田町役場を市庁舎とし、市役所第二庁舎及び総合文化保健福祉施設の建設が進められている。建設に向け安芸高田市は、市民と協働のまちづくりを基本姿勢とし、公聴会を開催するなど、市民の意見を広く聞く

取り組みがなされていた。設計業者の選定は、コンペ方式を採用。学識経験者・議会代表者・市民代表者・行政職員を審査委員として、取り組んでいる。設計書完成後は、条件付一般競争入札により契約を締結。現在、工事が進められている。

安芸高田市庁舎と第一庁舎建設

東温市は、平成十六年九月、重信町と川内町が合併し誕生。市庁舎は、重信町が、平成十二年四月に新庁舎を建設落成していることから、重信町庁舎が、

利用されている。建設面積、百四十五万平方メートル、延べ床面積、六百万平方メートル。地上五階の立派な庁舎である。合併に伴い職員の駐車場確保には、苦慮されたようだ。

東温市庁舎（旧重信町役場）視察



建設中の文化ホール

新庁舎建設への留意点



研修中の議員団（安芸高田市）

二市の視察を終え、
 ①建設にあたっては市民・議会・市職員等幅広い協議の上で進められることが望ましい。
 ②安芸高田市では、総合文化保健福祉施設が第二庁舎建設と併せて建設中であったが、本市の現状から贅沢な建設は、厳に慎むべきだと思ふ。
 ③太陽光発電システム等の導入で建設後の維持管理費の削減に努めるべきと考える。

④建設費用については、合併特例債の一部を充てる訳だが、本市の「身の丈」にあった建設を進めると共に、使えるからといって、いくらでも特例債を使うことは避けるべきである。全てではないが、以上のことは特に感じた点である。
 実り多い二日間の視察研修であったことを実感している。



東温市役所

安芸高田市

鉄骨鉄筋コンクリート造り地下1階地上4階建

建設中第2庁舎 既存第1庁舎

建設面積 1163.58㎡ 1119.32㎡

延べ床面積 4594.37㎡ 2535.34㎡

事業費

第2庁舎 1,189,112千円

総合文化保健福祉施設 2,939,182千円

合計 4,128,294千円

東温市（旧・重信町庁舎）

鉄骨鉄筋コンクリート造り 地上5階建

建設面積 1456.414㎡

延べ床面積 6080.365㎡

総事業費 3,171,774千円

- ① 電気設備、受変電設備、非常用発電設備
- ② 給排水衛生設備、自家給水設備
- ③ 空気調和設備、冷暖房設備
- ④ エレベーター設備
- ⑤ 太陽光発電設備 等々

両市庁舎に共通する設備に

市議会へのご意見・ご質問がございましたら

「議会事務局」までお願いします。

土佐山田町宝町1-2-1 TEL0887-53-1093